

ふりがな 氏名	なかがわ まさき	都道府県	東京都	
	中川 正樹			
所属/肩書	株式会社パソナ農援隊 コンサルティング事業部 ／マネージャー			
私の ESD活動	農業・まちづくり・地域活性化をキーワードに日本農業の持続的発展を目的に人材育成を行ってきました			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

1. 鳥取県初の学生団体運営の農産物直売事業・アルバイト紹介事業を展開。

- 【独創性】 中山間地域活性化を支援する団体を設立。その後、県外出身の学生を中心に鳥取県内の中山間地域・農業をキーワードに魅力の発掘・繋ぎ・発信を行ってきました。
- 【革新性】 鳥取県初の学生団体が運営する農産物直売所をオープンし、農産物販売を行っている農業者先に学生ボランティアや学生アルバイトを紹介し、農作業のサポートを実施いたしました。
- 【成果】 農産物直売所では毎週1回開催。学生ボランティア・学生アルバイトでは週2日／約5名の学生を紹介いたしました。また、中山間地域応援隊は平成17年から現在(平成25年)まで約8年間学生団体として存続し、現在でも農産物直売所を実施し、鳥取県内の農業支援に努めています。

2. 消費者から農業従事者まで「食と農業」に関する教育事業の設立。

- 【独創性】 「消費者」「就農希望者」「農業支援者」「農業従事者」の食と農業に関連する幅広い方々に対して体型方の研修プログラム「アグリベンチャー大学校」の立案・運営を行いました。対象者を幅広くすることで、横の連携・ネットワークを構築しオールジャパンで日本農業を支えていける仕組み創り取り組んで参りました。
- 【革新性】 幅広い対象者に対して、一つの教育機関として取組むのは国内初だと考えています。また、農業支援者向けの研修では、内閣府が実施する「食の6次産業化プロデューサー段位制度」の民間企業初となる教育機関として認証していただき、日本農業の経営発展に繋がる6次産業化の支援体制の構築を行っております。
- 【成果】 2013年より実施を開始し、消費者向け研修には延べ30名の方に参加していただき、安心安全な食と農に触れ合っていました。また、10月下旬開講の農業支援者向けの研修では、全国約10紙新聞等の取材、40名の参加者が受講していただく研修を実施しています。

・中山間地域応援隊: <http://www.pref.tottori.lg.jp/69236.htm>

・株式会社パソナ農援隊: <http://www.pasona-nouentai.co.jp>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

ESDの発展のために、若者がどのような役割を担えるかについて、大きく2点だと考えます。

1 点目: 日本の地域資源を有効的にリノベーションする役割・・・ 良き日本の伝統・文化・環境等の地域資源をただ持続させていくだけではなく、これからの世代への発展させていく必要があると考えます。新たなイノベーションを考えるだけではなく、現在の地域資源を発掘し、発展的・持続的・発信をする事がこれからの若者が担うべき役割だと考えます。

2 点目: 地域・業種を繋ぐプロデューサーとしての役割・・・ 地域や業種に囚われてきた思考や行動を取っ払い、地域・業種を中間的に繋いでいき新たな産業・新たな雇用・新たな教育を創造する事のできるプロデューサーを担う必要があると考えます。

ESDの発展を若者として、新しいものを作るのではなく、今までの地域資源を有効的にマッチングを行いリノベーションしていくことが役割だと考えます。